

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日
令和4年9月29日（木）

2 確認箇所
救急医療室（ER）

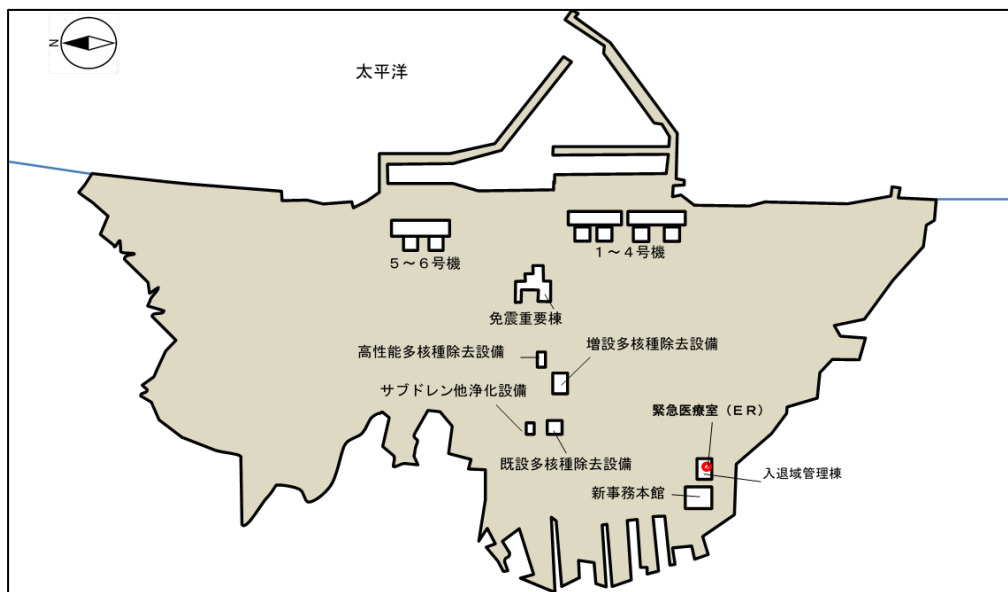
3 確認項目
救急医療室の状況

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では、同発電所において、廃炉作業に携わる全ての従事者を対象とした初期診療を実施するための救急医療室（ER）が開設されており、東日本大震災以降、Jヴィレッジでのオフサイトセンターでの医療活動、5/6号機サービス建屋内での開設を経て、平成25年6月30日以降は、入退域管理棟内に設置されている。

本日は、現在のERの状況を確認した。（前回確認：平成30年11月16日）（図1）

- ・室内には前回同様診察台やレントゲン室、AED等が配備されていた。また、医師や救急救命士、看護師及び事務員が24時間体制で待機しており、傷病者が発生した際に常時診療が実施できる体制が整っていた。（写真1）
- ・室内には、傷病者発生の連絡を受ける電話が複数台備え付けられており、電話の近傍にはスピーカーと連絡を受ける際の対応手順を記載したフローシートが掲示されていた。（写真2）
- ・ERの近傍に2台、構外の救急車車庫に2台、計4台の救急車が配備されていた。（写真3）
- ・東京電力では、労働環境改善のため、引き続き継続的な医療職の確保と患者搬送の迅速化を進めて行くとしている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
診察台の状況



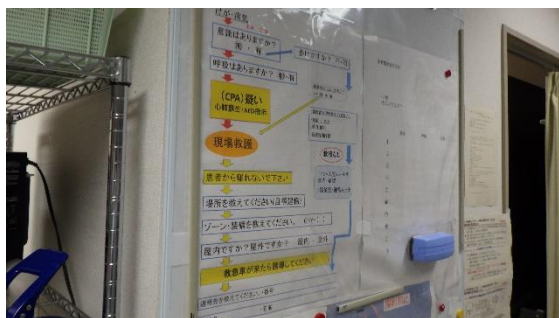
(写真1-2)
レントゲン室の状況



(写真1-3)
配備されたAEDの状況



(写真2-1)
連絡を受ける電話機等の状況



(写真2-2)
連絡時対応のフローシートの状況



(写真3)
救急車の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。